

《彼女の略歴》 (No.2)

1567年、メディナ・デル・カンポに創立された女子修道院にサラマンカから聖マチアのヨハネ修士（後の十字架の聖ヨハネ）が訪問し、テレサとの初面会が行われた。この時点ではヨハネがカルトジオ会への移転を考えていたが、テレサよりテレサ的カルメルの男子修道院創立を計画していることを伝えられ、ヨハネはテレサの計画に同意して、あと一年のサラマンカ大学の勉学のために、サラマンカへ帰っていった。

1568年4月11日、マラゴンに第三の女子修道院創立。同年8月15日、聖マチアのヨハネ修士を伴って、ヴァリャドリドに女子修道院を創立。テレサはヨハネにテレサ的新しい生活スタイルを示し、ヨハネから賛辞を受ける。また、カスティリヤ管区管区長よりドゥルエロの男子修道院の創立の承諾も受け、ドゥルエロの修道院の創立のために、テレサはヨハネを派遣する。同年11月28日、ドゥルエロで最初のテレサ的男子修道院を創立する。カスティリヤ管区長の下、聖マチアのヨハネ修士を含む3人のカルメル会士が緩和会則の放棄し、原始会則に基づく誓願を行う。この時から聖マチアのヨハネ修士は十字架のヨハネ修士と修道名を改める。この創立に先立つ9月12日ごろに、『自叙伝』の内容についてスペインの偉大な司祭であるアヴィラのヨハネの承認を受け取る。

1569年1月8日、メディナ・デル・カンポの女子修道院長が総長ルベオからドゥルエロの創立の賞賛の手紙を受け取る。「彼女はスペインのカルメル会修士たちよりも修道会にとってより大きな益をもたらした」。同年2月には、テレサはドゥルエロを立ち寄り、アヴィラに帰る。同年5月14日、トレドにて第四の女子修道院の創立。同年6月23日にパストラーナにて第五の女子修道院創立。続けて、7月10~13日にパストラーナにて男子修道院創立。同年8月20日、教皇ピオ5世より、スペインのカルメル会の視察師として、ドミニコ会の二人の司祭が選ばれる。一人はカスティリヤを担当するペドロ・フェルナンデス師、アンダルシアを担当するのがフランシスコ・デ・バルガ師である。当時、スペイン国王であったフィリペ二世はスペインで活動する托鉢修道会への干渉する権限を持っていなかった。そのため、教皇任命のスペイン人視察師を設立したものとみている。

1570年11月1日、サラマンカにて第六番目の女子修道院の創立。

1571年1月25日、アルバ・デ・トルメスにて、第七番目の女子修道院の創立。

立。この時は、十字架のヨハネ修士も同伴。7月13日、テレサもまたカルメル会緩和会則を放棄し、原始会則に基づく誓願をする。また、10月に視察師ペドロ・フェルナンデス師よりエンカルナシオン修道院の院長を言い渡されるのと同時にエンカルナシオン修道院をテレサ的カルメルの生活スタイルに導く。

1572年春、十字架のヨハネ修士がエンカルナシオン修道院の聴罪司祭になる。同年11月18日、十字架のヨハネ修士司式のミサの中で、テレサは霊的婚姻の恵みを受ける。

1573年9月28日、テレサはサラマンカの修道院の問題を解決するため、サラマンカを訪れて女子修道院の移転を行う。同時に、アンダルシアの創立計画を視察師の権威と共に立て始める。また、イエズス会ヘロニモ・リパルダ師の勧めに従って、第二番目の創立メディナ・デル・カンポから始まる『創立史』の執筆に取り掛かる。

1574年1月にアルバ・デ・トルメスへ訪問し、その後、3月にはセゴビアに十字架のヨハネ修士と他の司祭を同行して行き、3月19日に第八番目の女子修道院創立をする。この頃、パストラーナの女子修道院にエボリ王女の干渉があり、4月7日にパストラーナの共同体をセゴビアに移す。その後、エボリ王女は、テレサの作品の一つ『自叙伝』を異端の教えがあるという理由で異端審問所に訴える。この時期、アンダルシア地方の視察師フランシスコ・デ・バルガ師が若いテレサ的カルメル修士であるグラシアン修士にアンダルシアの視察の仕事を担当していた。これが前進して、時の教皇大使ニコラス・オルメナト師がグラシアン修士にカルメル修道会の改革者としての特権を与えた。実はこの動きがスペインの男子カルメル修道会の混乱を引き起こすことになる。10月6日、テレサはエンカルナシオン修道院の院長職を解任され、サン・ホセ修道院に戻る。

1575年2月24日、アンダルシア地方の最初の女子修道院創立をベアスで行う。第九番目の創立である。ここでグラシアン修士との初対面をする。ここにおいて、テレサは教皇大使の任を受けているグラシアン修士の指示により、セヴィリアの創立に5月18日に旅立つことになる。5月29日、セヴィリアで第十番目の女子修道院の創立をする。5月から6月にかけて、カルメル修道会の総会議がイタリアのピアツェンツァで行われ、テレサの改革カルメルが問題になり、テレサとルベオ総長の関係が悪化するきっかけとなる。8月3日、グラ

シアン修士、教皇大使オルナメント師よりコミッショナーに任命される。また、8月にはラテン・アメリカに渡っていた兄弟、ペドロとロレンソと再会する。8月24日には、靈的に三位一体の神の新しい体験を持つ。11月24日、グラシアン修士が視察師の権限で初めての許可をセヴィリアの女子修道院に与える。その後、総長より、テレサは一つの修道院に閉じこもるように通達を受け、アヴィラでは、十字架のヨハネと仲間たちが幽閉される。セヴィリアでは、テレサが元志願者の一人から異端審問所に『自叙伝』について訴えられていた。この対処のため、カラバカの町での女子修道院創立にあたりアナ・デ・サン・アルベルトに創立の全権を与える。

1576年1月1日、カラバカに第十一番目の女子修道院創立が行われる。

《つづく》